

香川大学教育学部

附属坂出学園だより

第52号

2015.12



獅子舞に「元気」をもらいました!



ぼくらの葉っぱの温泉だよ。

『さつまいも』
「はい、どうぞ」
「パクっ、おいしいな」
～読み聞かせのひととき～



目次

- ・今、学園では
 - 幼稚園 p 2
 - 小学校 p 3
 - 中学校 p 4
 - 特別支援学校 p 5
 - 特別支援教室「すばる」 p 6
- ・松韻会創設50周年記念事業 p 7
- ・PTA活動（松韻会・親和会） p 8・9
- ・坂出学園8～12月のあゆみ p 10



秋の集い ～作品展～



園庭の綺麗に色づいた桜の葉が舞い始めた10月28日、幼稚園では秋の集い～作品展～を行いました。お家の方を招待して、リズム室いっぱい飾られた子どもたちの作品とともに、子どもたちの素敵な歌もプレゼントして、笑顔いっぱいの作品展となりました。

3歳児

初めて幼稚園のみんなでバスに乗って出かけた秋の遠足を満喫した子どもたち。その思い出がさらに深まり、形にも残る物になればとバスの絵を描きました。タイヤが何個も付いていたり、バスで隣だった友達のお顔を描いたり…同じバスに乗ったのに、一つとして同じバスはないことが素敵です。また、獅子舞になりきって毎日遊んでいたことから、長い間獅子と一緒にいられるように獅子の付いた正月飾りも作りました。「持って帰った獅子、もうお家に飾ってくれとんで！」と満足気な表情を見せてくれました。



4歳児



「捕まえた!」「この虫何かな?」と虫捕りが大好きで小さな研究者のように虫の動きを観察している子どもたち。そんな虫を墨やクレヨン、絵の具で描いてみました。「本物そっくりに描きたい!」と図鑑を引っ張り出したり、「私はクレヨンにする!」と思いついて、

それぞれの思いが絵に表れていきます。色を塗ることで命が吹き込まれた色とりどりの虫たちは、今にも動き出しそうなほど一匹一匹生き生きとしていました。また、ドンダリやマツボックリなどでケーキを作ったり、フォトフレームを作ったりと秋満載の作品づくりも楽しみました。

5歳児

思い思いの遊びの中で、イメージを膨らませたり、友達と相談したりしながら自分たちでどんどん作り上げていく年長児は、一人一人が遊びの中で作られてきたものを作品として見てもらいました。ダンスが大好きで毎日踊っていた人たちの作品はダンスで着られるキラキラした衣装。木工を楽しむ中で生まれてきたミニ御神輿やビー玉コース。イメージの世界を楽しむ中で形になった段ボールのモンスター工場など、子どもたちが心躍らせた毎日がたくさん詰まった作品が並びました。また、講師の先生を招いてコスモスを描きました。画用紙いっぱいに描いたコスモスに色を載せていくわくわくした顔、お花畑のようになった絵をお家の人に見せようと手を引くときの自信にあふれた表情が何よりも輝いて見えました。

作品を作る過程にも、それを誰かに見ってもらうことも、子どもたちの心を豊かにした作品展となりました。



研究主題

対話を通した「思考力」の育成

—「育てるカウンセリング」を生かして、個々の考えを広げ深める授業づくり—

本校では、ことばを介した関わりである「対話」に焦点を当て、「思考力」の育成に取り組んでいます。その授業づくりでは、集団を対象としながら発達課題の解決や成長の援助を目的とする「育てるカウンセリング」を手がかりにしています。今年度の教育研究発表会は、1月28日（木）、29日（金）に行います。多数の先生方の参加をお待ちしています。

保護者の方には、学校環境の美化や受付などでご協力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

研究授業

1年 図画工作科「破いた紙が大変身—かたちからうまれたよ—」

1年生の子どもたちは、何でもなような形を見ても、「○○みたい」「○○に見える」など見立て遊びを行うことが好きです。そこで、一つの形の見立て遊びを行う際に、形の見方を増やすことで、表したいもののアイデアが豊かに広がるようにしました。

まず、子どもたちに一つの形を見せ、「宇宙船」「帽子」など見立て遊びを行いました。その中で、見る方向を変えると形の見方が変わることに気付き、その後、形をものの全体として見るだけでなく、もの的一部分として「恐竜の牙」「人の鼻」などと見る見方にも気付いていきました。子どもたちは、方向を変えて見たり、もの的一部分と見たりして、



【自分の見方を伝え合う】

さまざまなアイデアを考えました。その際、丸形の透明シートを用いました。シートの中に形を挟んで、ホワイトボードマーカーで描くようにし、いくつものアイデアを試せるようにしたのです。その後、それぞれのアイデアを互いに伝え合う対話を行うことで、一つの形でも友達とは自分と違った見方をしていることから、さまざまな見方ができることが分かったようです。形を見る見方を増やすことで、子どもたちは自分の選んだ形のおもしろさをより感じることで、アイデアをさらに広げることができました。

造田 朋子



【形をもの的一部分と見る見方を示す】

5年 算数科「かけ算の世界を広げよう—小数×小数—」

子どもたちがかけ算と出合ったのは、今から3年も前の2年生のときです。4×3は4の3つ分と説明していた子どもたち、5年生でも1.5×2.3を同じように説明しようとするがうまくいきません。1.5の2.3つ分…？かける数が小数になっても、その意味と計算の仕方をとらえていくことを目指しました。

その際、最も簡単な「整数×整数」の場合と「小数×小数」の場合を比べながら、同じところや異なっているところについて対話を行いました。子どもたちは友達と対話を通して学習を進めていくことが大好きですが、話すのが苦手な子どももいます。そこで、対話の相手はふだんから関わりが多い生活班にするとともに、発表時間を1人1分間にするなどのきまりを話し合いに取り入れしました。それぞれの発表の「番」をみんなが守り、発表している相手の話をしっかり聴くという温かな雰囲気の中で対話が行えるようにしました。

また、発表後に質問の時間もとりました。ただ、どのように質問すればよいのか戸惑う子どももいます。そこで、「○○さんが○○と言ったのは、○○○○ということですか。」と、質問の仕方について教師がモデルを示すようにしました。そのような質問を友達から受けることで、発表した子どもは、しっかりと聴いてくれているという喜びを味わうことができたようです。そして、「かける数が整数のときには、いくつ分で説明できるけれど、小数になると説明できないよ。」「でも、数直線図に表すと、どれも同じように見えるので、かける数が小数の時も同じように計算すればいいと思うよ。」と対話を行いました。このような対話を通して、これまで整数の範囲で考えていたいくつ分の考えを、小数倍にあたる大きさを求めることへと広げていくことができました。

清水 顕人



【「番」を守って話し合う】



【教師がモデルを示す】

第5回 あじさいフェスティバル(文化祭)が開催されました！

去る11月3日に、**あ**たらしい (**あ**いのある) **じ**ゆうときりつの **さ**わやかな **い**ばしょフェスティバル、附属坂出中学校の文化祭が行われました。午前中には**総合学習CAN発表会・文化部発表**、午後からは**CAN受賞クラスターによる発表・各学年団発表**が行われました。

【最優秀研究 青雲賞】

「人の行動や心理にはどのような傾向があるのか
～あなたはどれを選ぶ?～」

3年：溝渕海人さん 2年：川畑壮空さん 1年：小西俊輔さん
人の行動の傾向について調べるため、アンケート調査を行い、膨大なデータ収集を行いました。人の行動の傾向と心理の関係について、オリジナルな視点からデータを分析して明らかにしたことや、人を引きつける巧みなプレゼンテーション力も高く評価されました。



【優秀研究 CAN賞】

「最も性能の良いシャーペンの芯とは?」 3年：三野さん 2年：西川さん 1年：西谷さん
「ホラーゲーム研究所～人の求める怖さとは?～」 3年：徳永さん 2年：樋口さん 1年：塚田さん
「テレビ番組の秘密～視聴者の心に響くプレゼンとは?～」 3年：塩井さん 2年：宮井さん 1年：藤本さん

【部門賞】

課題設定力賞 「一番ストレスのかからない音楽の種類は?」
3年：吉川さん 2年：高木さん 1年：植山さん

課題追究力賞 「Mechanical Pencil Center
～書き続けても疲れないシャーペンとは?～」
3年：鷲塚さん 2年：大野さん 1年：吉本さん

表現力賞 「今人気のスイーツ考案研究所
～誰もが食べたくなるクッキーとは?～」
3年：村上さん 2年：丸尾さん 1年：松井さん

チームマネジメント賞
「希少糖倶LOVE♥2
～希少糖はどんな料理に合うのか～」
3年：茂木さん 2年：谷川さん 1年：吉田さん

他にも「へりうむへリウムHelium飛行船」や「心を動かす切り絵本、その条件とは?」など、17クラスターの研究に研究奨励賞が贈られました。



文化 部 発 表



吹奏楽部



理科部

各 学 年 団 発 表



3年団合唱



ふれあい学習発表会

11月22日（日）

今年は、例年と違って「ふれあい学習発表会」として実施し、これまでの学習の成果を発表しました。当日は天候にも恵まれ、たくさんの方が来てくださいました。卒業生、お世話になっている事業所の方、地域の方々への感謝の気持ちを込めて頑張りました。各部の様子を紹介します。

小学部

ステージ発表

毎年恒例、府中小学校4年生との合唱・合奏を披露しました。合唱「360°」では、軽快で明るい音楽に合わせて元気に歌い、仲良く踊りました。合奏「ソーラン節」では、府中小4年生はリコーダーと鍵盤ハーモニカ、本校の子どもたちは、和太鼓や締太鼓、木琴、ウッドブロック、タンバリンなどの楽器を使って演奏しました。当日は息の合った合奏ができました。



ゲーム大会、バザー

府中小4年生と一緒にゲーム大会をしました。「的あて」「魚釣り」などのコーナーをそれぞれのペアグループで一緒に回りました。一緒にする活動を通して、友達を理解し、関わり方を学び、仲良くなることができるのだと感じています。バザー販売では、カレンダー、メモ帳、壁飾り、ビーズストラップなどの作品づくりに取り組み、当日は「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と笑顔でお客様を迎え、たくさん販売できました。



中学部

ステージ発表

中学部は、今年度、洋楽を使ったダンスに挑戦しました。

音楽の授業中に生徒が動きを考え、練習を重ねました。当日は心をついにしたダンスを披露することができました。



ふれあい工作

今年もNPO法人ELF丸亀理事の前田先生にご指導いただきながら、輪ゴムで動くおもちゃ（かえっておいで、ホーバージェット）を作りました。この日は保護者の方も童心に返り、親子で力を合わせておもちゃを完成させることができました。ゴムの力で勢いよく走るホーバージェットに、生徒から大歓声も上がりました。



バザー

事前に「いらっしゃいませ」「いかがですか」と接客の練習をしたことを生かし、陶芸班のお皿や花瓶、農耕班のじゃがいもや大根、今年新設の紙すき班のカレンダーやブックマークとどの作業班の販売も大盛況でした。

高等部

模擬店【まうんてんぴーち】

今年は、「まうんてんぴーち」の看板や装飾を新しくしました。看板は高2組の生徒たちがデザインを考え創作しました。接客係の練習では、2、3年生が1年生に教えてあげる場面も設け、そのかいあって、1年生も当日は自信をもってお客さんに注文を聞いたり、お礼を言ったり、丁寧に接客ができました。バックヤード係の練習も、自分ができる仕事を自分で考えたり、指導者の手本を見てやり方を覚えたりして、当日を迎えました。自分の役割に一人一人が責任をもって取り組みました。この模擬店の活動は、正確に聴き取る、伝える、用意する活動から、基本的な挨拶やマナーをはじめ、相手の立場になって考えることまで、生徒たちにとって貴重な体験学習の場にもなっています。



バザー

開店とともにお客さんが殺到する農耕班の大根や花の苗、毎年楽しみにしていると、リピーターさんが多い窯業班の湯飲みや小鉢、家政班の巾着袋やアームカバー等、たくさん購入していただきました。生徒たちは作業学習で一生懸命作った品の販売活動を通して、たくさんのお客様にきていただいた喜びやお客様との関わり

の中で達成感を味わうことができました。

<お礼>本校の児童の搜索に際しまして、坂出学園の皆様からたくさんの情報提供のご協力をいただき感謝しております。ありがとうございました。紙面にて失礼ですがお礼申し上げます。

特別支援教室「すばる」で活用している教材の紹介

特別支援教室「すばる」で、イライラしたときに上手く対処をすることが難しいお子さんに対して行った個別指導の実践を紹介したいと思います。

怒りが抑えきれなくなると不適切な行動をとってしまう中学生のAさん。どのようなことにイライラするか自己意識が低く、イライラを溜めてしまうと怒りが頂点に達すると考え、本人が実行できる対処法を指導しました。最初に、気持ちが高ぶったときの場面や体がどのように変化するかを認識できることで、イライラしていることに気付けるようにしました。次に、イライラしたときの対処法として、①ゆっくり呼吸法、②ちょこっとメモ、③大好き図鑑にいっしょに取り組みました。

①ゆっくり呼吸法では、Aさんは緊張した状態で毎日を過ごしていることが多く、リラックスした状態を意識することができていなかったため、筋弛緩を行い脱力した状態を体感できるようにしてから、息をゆっくり吸ってゆっくり吐く呼吸法を行いました。そのときに、右図のemWave2（パソコンモニターでの心拍数変化の確認を行える装置）を使用し、心拍変化の状態を波形で示し、体の余分な力を抜いて呼吸をすることを分かりやすく示しました。パソコンモニターで変化の様子をすぐに確認できるので、自分で意識しながら、自信をもって呼吸法を行うことができるようになりました。



図1 emWave2

②「ちょこっとメモ」では、携帯しやすい大きさの記録用紙を用意し、生活の中で気になったことや、イラッとしたことをすぐに書き留め、イライラしていることに気づき、イライラを溜めないようにその場に合った対処法を選択して実践できるようにしました。また、あとからメモを見直しどう対処したらよいか一緒に考えることができました。

③大好き図鑑では、自分の好きな事柄をノートにスクラップしたり、書いたりしてためていくようにしました。イライラするなど気分が落ち着かないときに自分の好きなことを集めたノートを見ることで、気分を変えて落ち着くことができるようにしました。



図2 大好き図鑑

気持ちが不安定で、登校を渋ることはありましたが、指導を行っていくと気持ちが徐々に安定し、「ちょこっとメモ」に書く内容が、イライラすることではなくうれしいことや面白かったことに変化していきました。

また、自分と違う意見を受け入れることが難しく、納得できないことがあると大声で泣いたりすることがある小学生のBさん。「ハッピー日記」を書く指導を行いました。自分がうれしいこと、周りの人を喜ばせたことを絵日記に書いてためていくようにしました。自分の快感情を意識できるようにしたり、他者に目を向け自分とは違う好みや考えがあることに気付くよう促したりしました。当初は、過去にあったことを記入することが多かったのですが、日常生活の中でうれしいと思ったことを記入するようになりました。また、保護者から、「相手を思いやる言葉が聞かれるようになりました」という報告がありました。



図3 『ハッピー日記』

松韻会創設50周年記念事業

松韻会は、昭和40年に幼稚園・小学校・中学校合同のPTA組織に改組されたときに結成され、今年度で50周年を迎えました。附属学園の使命と教育に対する理解を深め、これを推進するため、また、家庭・学校・社会相互の協力を緊密にして、園児・児童・生徒の健全な発達を図るなどの目的のために活動を行っています。

今年度は、これらを推進するため、松韻会創設50周年記念事業を展開しています。

若井校園長とオペラ歌手によるオペラ名曲コンサート



10月29日に全附連の土曜事業推進助成を活用し、「若井校園長とオペラ歌手によるオペラ名曲コンサート」を小学校で開催しました。園児、児童と100名を超える保護者の方々が鑑賞し、本物の芸術に触れることができました。演目は、「椿姫」「魔笛」「カルメン」などで、子ども用にアレンジしていただいた6曲を演じていただきました。園児や児童は、歌が始まると真剣なまなざしで生のオペラに聞き入っていました。最後は子どもたちも一緒に、となりのトトロのオープニングテーマ「さんぽ」を合唱しました。公演後は、幼稚園でオペラごっこなどの遊びをする子どもが増えたそうです。芸術の秋にふさわしい、素敵な時間を過ごすことができました。

10月29日に全附連の土曜事業推進助成を活用し、「若井校園長とオペラ歌手によるオペラ名曲コンサート」を小学校で開催しました。園児、児童と100名を超える保護者の方々が鑑賞し、本物の芸術に触れることができました。演目は、「椿姫」「魔笛」「カルメン」などで、子ども用にアレンジしていただいた6曲を演じていただきました。園児や児童は、歌



「附属グッズ」の販売

記念事業の一環で「附属グッズ」を作製し、販売を行っています。

6月に松韻会を対象に附属グッズのアイデアを募り、259件ものアイデアが寄せられました。7月には、そのアイデアをもとに「トートバッグ、スポーツタオル、マフラータオル、ミニタオル、付箋紙、ボールペン」のグッズ作成に取りかかりました。9月にグッズが完成し、運動会では、アイデアをいただいた方の中から、抽選で附属グッズをプレゼントさせていただきました。当初は注文形式で販売を行いましたが、皆さまに好評を博しましたので、文化祭や附小フェスタなどで追加販売を行っています。



「附属グッズ」のアイデアをいただいた皆さま、作製に携わっていただいた皆さま、ご購入いただいた皆さま、ありがとうございます。

「附属グッズ」販売による収益は、子どもの教育環境の充実に役立てていただくため、附属学園に全額寄付しています。

たくさんの方々に購入していただき、附属学園の教育環境の充実にご協力いただきたいと思います。これからも、よろしく願いいたします。

幼稚園より

ウェンディーの会 ～グラスアート製作会～

11月16日（月）、グラスアート教室を開いている田中先生をお招きし、グラスアート製作会が行われ、保護者約25名の参加がありました。

今回のグラスアートでは「キャンドル・バラ」と「ウェルカムボード・鳥」の2作品から選ぶことができ、また、色も赤、黄、紫、水色から選ぶことができました。約1時間から1時間30分で仕上がる作品はどちらもとてもかわいらしく、どんな色合いの作品にしようか迷ってしまいました。

初めてのグラスアート製作に保護者の方々はとても真剣な表情で先生の説明を聞いていました。始めのうちはおしゃべりをしながら楽しく製作していましたが、作業が進むにつれていつの間にか無口になり、完成まで真剣そのものでした。自分で作った作品はどんな出来栄であれ、ずっと大切にしていけるのだろうと思います。貴重な体験ができ、とても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。「こんなふうにして作ったんだよ。」と子どもと話をして楽しみたいと思います。

グラスアートにご興味のある方はぜひ一度、田中先生が開いているグラスアート教室（普通寺教室・宇多津教室があります）に足を運んでみてはいかがでしょうか。



小学校より

7月16日、3年生4年生を対象に自転車交通安全教室が開かれました。香川県交通安全協会の交通安全教育推進隊によるお話や、レクレーションがありました。自転車シュミレーションでは、自転車の運転を疑似体験で学びました。



8月1日、今年もさかいで大橋祭りに参加しました。今回は第50回記念ということで、ハナミズキ広場では全踊り手で記念撮影も行いました。天候にも恵まれ、猛暑を吹き飛ばすほどの熱気に包まれ、50周年記念にふさわしい盛り上がりを見せました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

中学校より.....

まなとピア

11月8日(日)坂出駅前にて、「2015さかいで まなとピアフェスティバル」が開催されました。市内の他校PTAの方々と松韻会有志の皆さまが共に練習を重ね、すばらしい歌声を披露してくださいました。演奏後には、会場から暖かい拍手が贈られました。



坂出市PTAソフトボール大会

12月6日(日)に坂出市PTAソフトボール大会が開催されました。とはいっても本原稿作成時は大会前であり、幼稚園・小学校・中学校合同で毎週日曜日に中学校の運動場にて練習を行っているところです。昨年は優勝いたしました。今年はどうなるのでしょうか。次回の「学園だより」にてご報告いたします。

絵画コンクール会長賞

「平成27年度 全附P連 絵画コンクール」において、昨年度に続き、本校1年生の北面未紗さんが会長賞を受賞されました。題名は「収穫祭」です。おめでとうございます。



特別支援学校より.....

中国・四国ブロック大会に参加して

10月2日・3日に開催された「第26回中国・四国地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研究協議会」に参加しました。毎年行われているこの会は、中四国9県の知的障害教育校が集まり、講演や実践報告、全国大会の報告などが行われます。

今年度は、徳島県立池田支援学校で開催され、開会式のアトラクションでは、徳島県立国府支援学校和太鼓部の皆さんが、とても迫力のある演奏を披露してくれました。

池田支援学校のある地域では、地域全体が総合福祉センターとなる「箸蔵福祉村」を創設し、支援学校をはじめ、療育センターやデイサービスセンター、老人ホームなど、地域の実態に沿った福祉体制を確立し、地域住民と施設が一体となり、住みよくなるさとづくりをされています。その他講演をはじめ、とても多くの事を学ぶ事ができました。



「第17回府中湖水のフェスティバル」10月4日(日)

恒例となりました「水のフェスティバル」に本校親和会が参加しました。当日は汗ばむ陽気の中、ドラゴンカヌーの参加者やステージイベントなどを楽しむ大勢の人でにぎわっていました。本校行事部は「おいしいもの広場」にて、アイスクレープ・フランクフルトの販売、生徒作品の展示販売を行いました。毎年、楽しみにしてくれている方もいるようで、アイスクレープ・フランクフルトは早々に完売し、生徒作品のストラップや布製品、湯飲みや小皿、多肉植物なども大好評でした。生徒が授業で取り組んでいる素敵な作品を多くの人に興味をもって広く知っていただける場にもなりました。また慣れていない接客販売も部員同士が協力し合い、和やかな雰囲気の中で行うことができました。そして、豊富な水資源を目の前に改めて水の大切さについて考える一日となりました。



13歳の自律教室

10月5日(月)中学1年生を対象に「13歳の自律教室」を実施しました。これは、専門家による法教育を行うことで、生徒が社会のまきりを守り、社会的に自立できるように育成すること、裏力やいじめが法律的に許されないことを理解させ、学校が安全で安心して学べる場所である環境づくりを進めることを目的としています。講師として、本校を卒業された弁護士の高丸雄介先生、山地淳仁先生をお迎えし、中学生の「自律」についてお話をいただきました。今もなお、附属への愛にあふれたお二人の先生からは、後輩への熱い思いが伝わってきました。今回学んだことを今後の生活に生かし、体の年齢と同じように心の年齢も積み重ねていきましょう。



一票の重みを学びました

10月9日(金)任期満了に伴う生徒会役員改選が行われました。各候補者は、登校時間に正門あいさつ運動を行ったり、昼食時間に各教室を訪れて自分の主張を伝えたりと、意欲的に選挙活動を展開しました。放送による立会演説会では、どの候補者も堂々と自分の考えを発表していました。投票は、市長や国会議員の選挙でも使用されている投票箱を坂出市からお借りし、厳粛な雰囲気の中で整然と行われ、清き一票を投じました。新生徒会によって、附属坂出中学校が全校生一人一人にとって、ますます愛のある自由と規律のさわやかな居場所となることを期待しています。

AED最新機種に更新

10月に、生徒昇降口に設置してあるAEDを最新の機種に更新しました。同時にリース契約となり、業者が定期的に電池等を点検します。緊急時には確実に使用可能な体制が整いました。工事中の体育館のものについても今後、更新予定です。機種更新に合わせ、職員を対象にAEDを使用した救命処置の流れについての確認等、講習を行いました。今後も定期的に職員研修を行っていきます。ご来校の際には、AEDの設置場所をご確認ください。



中学校

人権講演会

10月7日(水)、人権に関する授業参観日に人権講演会が行われました。今回の講師は、坂出市人権課主幹の堂尾勇先生です。5、6年生児童と保護者の方、合わせて約300名が参加し、盛大に行われました。演題は「私の中の差別意識」で、区別と差別との違い、いじめの構造などを、実生活とつないで分かりやすい言葉で話してくださいました。本校の6年生が「私の考えを語る会」で発表する内容についても、関連を挙げながら説明して下さったので、聴いている子どもたちも、自分のこととして受け止めている様子でした。



情報モラル教室



10月30日(金)、情報モラル教室が行われました。こちらも5、6年生児童と保護者とを対象とし、合わせて約160名が参加しました。

講師は、高松の「e-とびあ・かがわ」から来られたインストラクターの先生です。携帯ゲーム機での通信やスマートフォンのゲームアプリなど、子どもがつい手を出しそうなところが、実は世界中の人々につながっています。個人情報を入力するとどれだけ問題になるかを伝えてくださいました。また、今はLINEなどで友達を中傷し、いじめにつながる事案がよく見られます。「機種も思いやりを込めて使わないと凶器になる」とのことでした。

保護者の方も、お子さんがルールと節度をもって情報端末を扱えるよう話し合ったり、利用制限を設定したりしてはどうでしょうか。

小学校

特別支援学校

<修学旅行報告>

小学部は、USJ、インスタントラーメン発明記念館、須磨海浜水族園に行ってきました。新幹線や電車等の交通機関を利用したり、ロッジで宿泊したり、いろいろな経験をして最高の楽しい思い出ができました。



小学部



中学部

中学部は、関西方面に修学旅行に行きました。海遊館、なんばグランド花月、金閣寺、京都太秦映画村等に行きましたが、1番楽しかったのは、やはりUSJでした。串かつやしゃぶしゃぶなど食べ放題もあり、よく食べ、しっかり楽しんだ2泊3日でした。



高等部

高等部は、東京方面に修学旅行に行ってきた。劇団四季の「ライオンキング」を間近で観ることができ、本物の芸術の迫力に誰もが釘付けになりました。一番、楽しみにしていた「ディズニーランド」は一日雨でしたが、カッパを着て次々アトラクションを楽しみました。最後のプロジェクションマッピングで素敵な映像にうっとり。他にも、上野動物園、スカイツリーなどの東京ならではの観光を楽しみました。

幼稚園

～保育参加～親子で一緒に楽しもう・つくろう



お膝の上でバランスだよ。大成功。



忍者！ジャンプだそれっ。

11月5日、6日に黄・赤組は「親子ふれあい体操」の活動、青組は「親子陶芸」の活動を入れた保育参加を行いました。親子で体を動かすことの楽しさや、まねをしながら体を動かせるようになった驚きと成長を感じられたようでした。「そうじきフィーンして！」と早速お気に入りの運動をリクエストする姿もありました。「楽しく体づくり」を今後も続けて、心と体の元気づくりを願っています。



私のすてきなところはね・・・

親子陶芸では、親子で共に行った作品として、大切な思いいっぱい素敵な花瓶ができました。一つのことに向き合う中で、心を寄せ合うことにもなっており、笑顔が素晴らしいかったです。「すてきなところお伝え」ゲームでは、親子の輪がつながり、ハッピーな言葉や笑顔が伝わり合っていました。ぜひ、ご家庭でもしてはいかがでしょうか。

～未就園児への園開放～親子で附属幼稚園で遊ぼう

11月2日、園庭で親子が遊べる機会をもちました。短い1時間でしたが、砂場遊びやフラフープ跳び、三輪車乗りなど、思い思いにゆったりと楽しむ姿が見られました。「幼稚園って楽しそう」という思いや保護者の方の本園についての関心・ご理解の一步になればと思っています。幼児期、自分を大切に友達とのかかわり、ものとのかかわりを広げていく喜びを味わえる保育を行っていきたくと考えています。



編集後記

2学期、附属坂出学園の合同運動会において、幼・小・中・特別支援学校のつながりの「話・輪・和」を大切にすることで子どもたちのよさを生かし、成長を見守っていく思いを深めました。各校園の子どもたちは、実りの時期を迎え日々の生活を通して、新たな学びを喜んだり、友達とのかかわり合いを深めたりし、自己発揮していくたくましさを蓄えてきているのではないのでしょうか。子どもたちの成長は家庭との連携の基に支えられることを今後も心に留め、共に育つ「共有」に努めてまいります。3学期もどうぞ温かなご協力、ご支援をいただけますよう、よろしくお願い致します。

2016年もよき年となりますようにお祈りいたします。

発行年月日：2015年12月18日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出小学校内

倉野 晴代 (附属幼稚園)

樽本 導和 藪内 雅昭 (附属坂出小学校)

小林 理昭 可児智恵子 (附属坂出中学校)

合田 卓生 有家由佳子 (附属特別支援学校)